



廃プラの話題がこ

んなに新聞

紙面をにぎ

わせたこと

はなかつ

た。

スイスの

廃プラ輸出は 重要局面を迎える

れた廃プラの輸出が
難しくなる。
汚れの基準はこれ
からだ、問題の根
幹に横たわるのは
「廃プラに対する無
責任さ」と言うこと

えるような仕組みを
命懸けで構築してき
てくれた人達もいう
ことを忘れてはなら
ない。廃プラが国内
で処理する方がはる
かに安い時代に、廃

溶かして回収してき
た企業もあった。工
場から出てくる良質
のロールなどは、輸
出先では異物はまっ
たく出ない。
確かに異物が輸出

先国の川や

海を汚して

いたとの指

摘もある。

廃プラ輸出

量は、昨年

101万トだった

が、全量が悪者扱い

されることが大きな

誤解といえる。輸出

によって「廃プラが

宝になった」ことは

事実だ。(波)

ジュネーブで開かれ
たバーゼル条約の締
約国会議で、日本と
ノルウェーの提案を
受けて改正が決まっ
た。輸出先の同意が
必要になることで汚

ができる。汚れた廃
プラが生まれるのも
回収と処理を考慮し
ない責任のなさだ。
反面責任を持つて
きれいな廃プラを輸
出先国が使ってもら

ラに価値を見いだし
た企業も人もいる。
廃プラ輸出が本格
化したのは20年ほど
前からだが、それ以
前から大量に発生す
る発泡スチロールを